



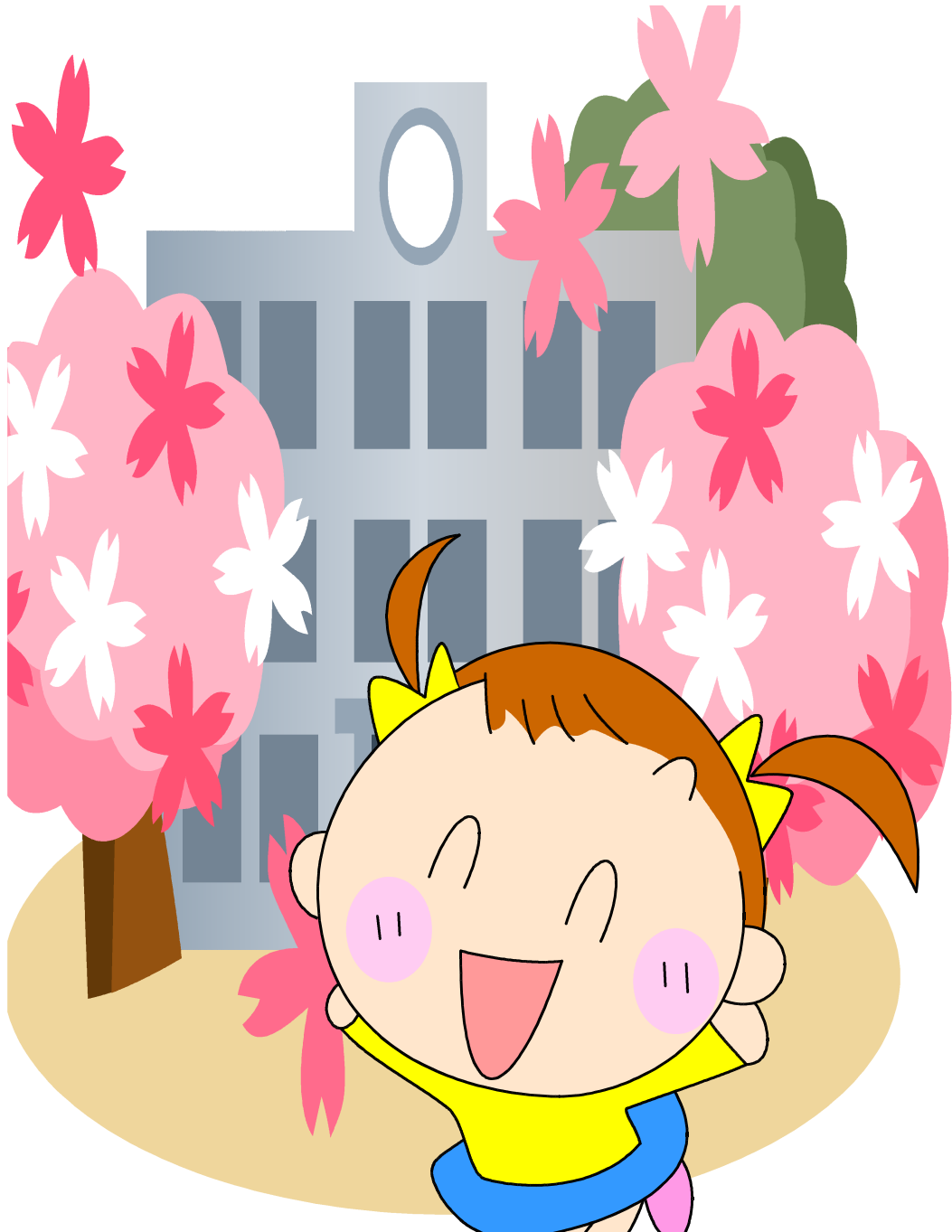
ナウマンゾウ（ミュージアム
パーク茨城県自然博物館より）



くのちょう
久野町で、はっけん
された ナウマンゾウのかせき
（遺跡から見る牛久の歴史より）

図 2.9 霞ヶ浦周辺および
房総半島北部の産地
番号は本文ならびに表 2.3 と
同じ
（●）は正確な地点が不明の
もの

なっちゃんは、おくの
の しょうがくせい。



なっちゃん、おかあさんと
いっしょに としょかんで、
ほんをよんでいたら

びっくり！



「くのちょうで、ナウマンゾ
ウのかせきが、みつかったん
だって」

「え～、ほんとう」

おかあさんも

びっくり！

「ところで、おかあさん。ナ
ウマンゾウのかせきってどん
なものなの？」

「ん～、しらないわ」



「ん～、
きになっちゃうわ」

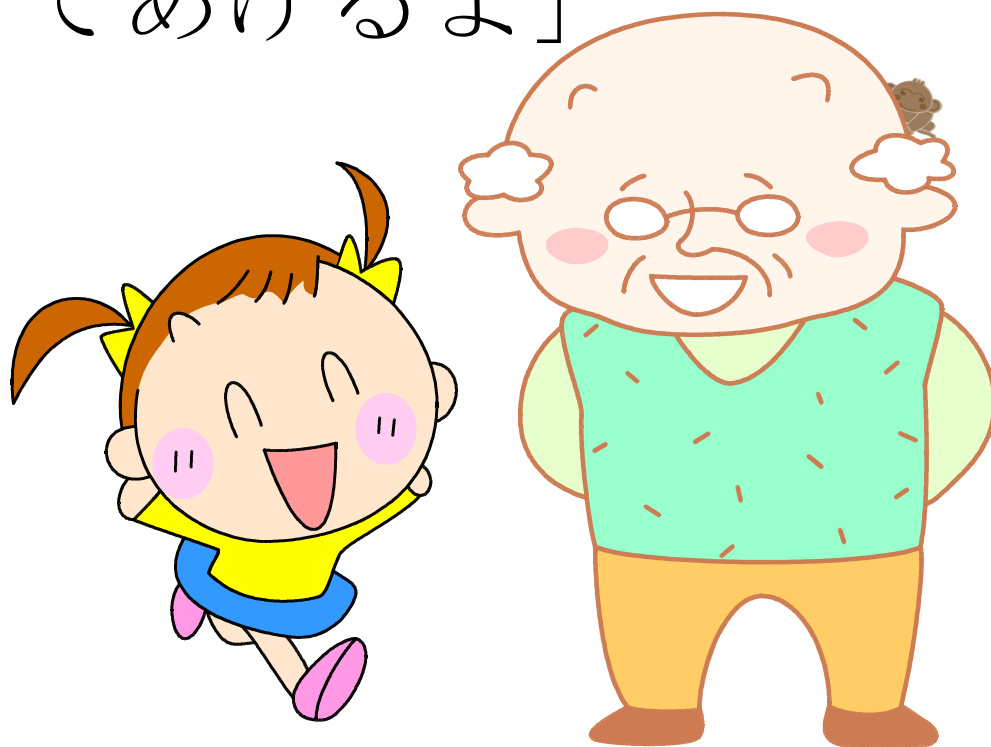
ど
う
し
よ
う

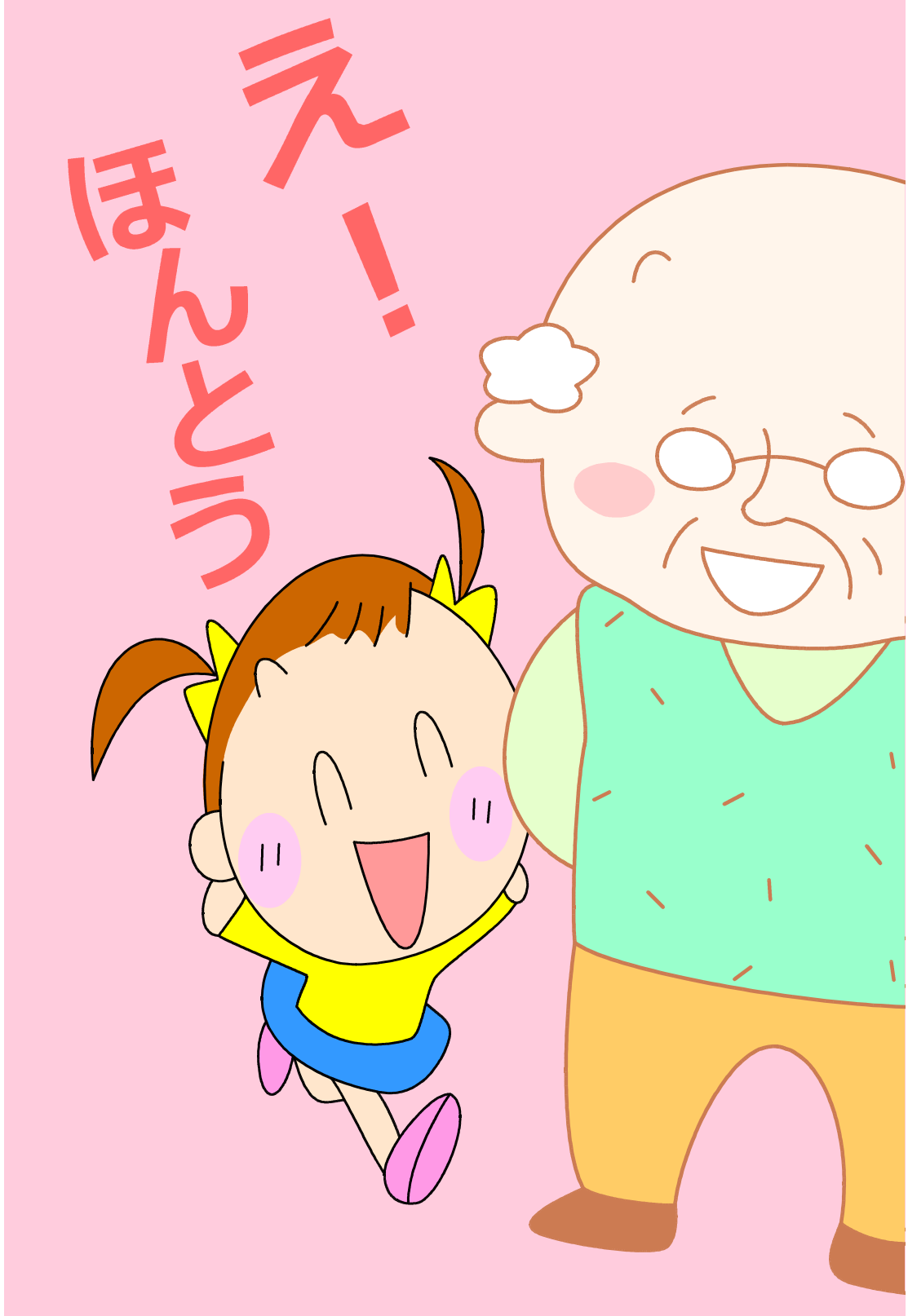


「おじいちゃんにきいて
みよう」



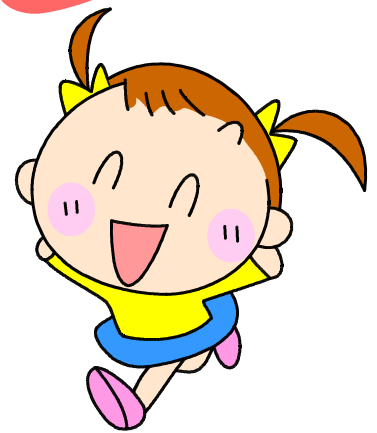
「ん～、たしかにナウマ
ンゾウのかせきがみつか
ったらしいよ。くわしい
ことは、あきおさんにき
いてみるか。いっしょに
いってあげるよ」







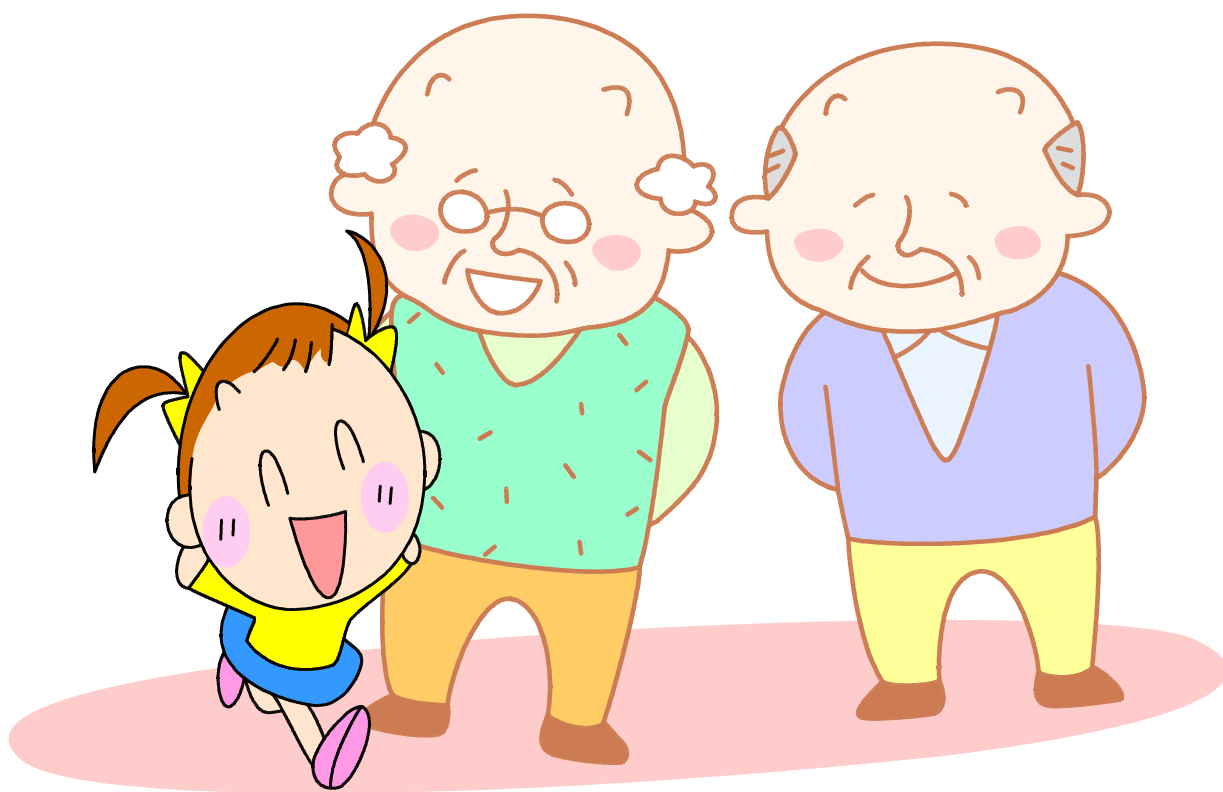
わくわく どきどき



あれあれ、これはおもしろそうと、な
ぜなぜくんが、もりからあそびにきたよ。
どこかな？

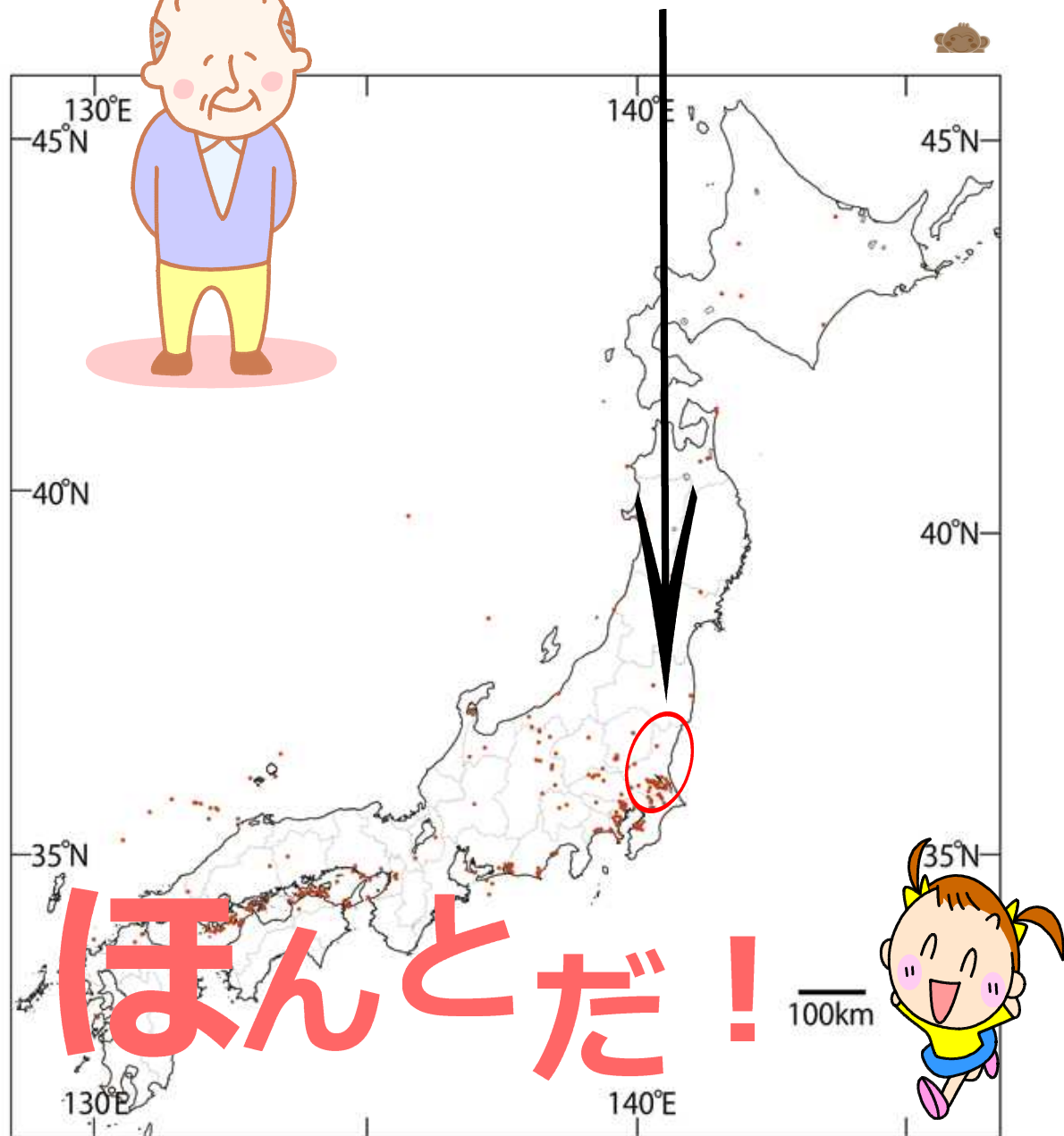


つぎのひ。ふたりは、
あきおさんのいえにいった。



すると、たいせつな
はなしをしてくれた。

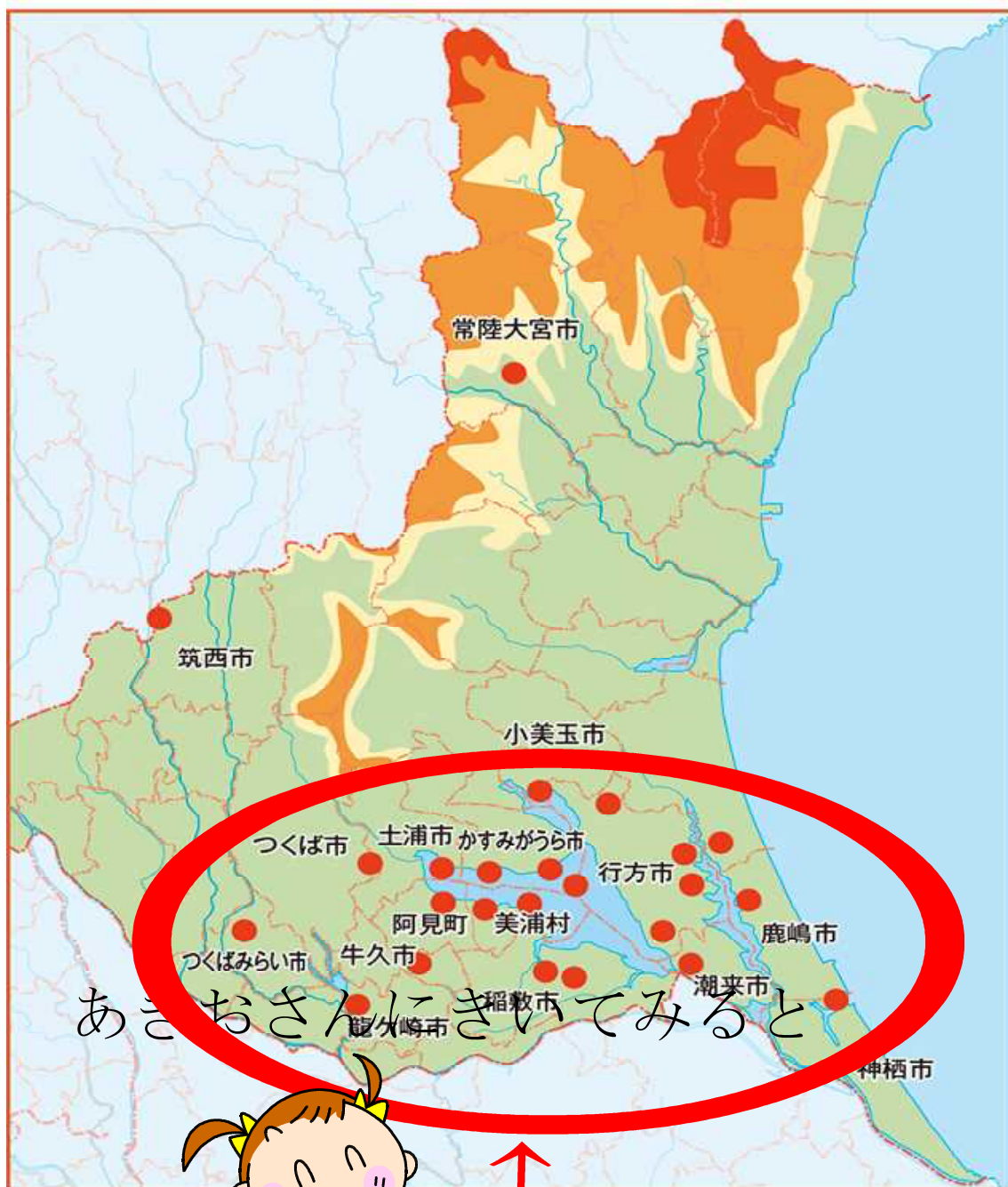
じつは茨城県は、たくさんのナウマンゾウのかせきがでているんだ。
ここが茨城県だ。



※あかいてんが、ナウマンゾウのかせきがでたところだよ

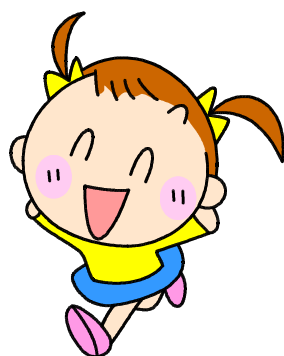
もっと、おおきくしてみようね。

▶ 茨城県内ナウマンゾウ化石産出地



ここがおおいんだ！

とくに、



ゆうめいなのは、はなむろがわの
かわゆかからみつかったナウマンゾ
ウのかせきなんだ。



▶ 花室川流域哺乳類化石産出地



「どうして、ゆうめいなの？」

それはね、^{なが た ばし}永田橋のちかくでナウ
マンゾウのほぼかんぜんな^{ひだり う わ あ ご だい}左上顎第
^{だ い きゆう し}3大臼歯（おくば）のかせきがみつ
かったからなんだ。これは、^{し かん}歯冠（くち
のなかにでているは）のながさが30 cmをこ
えるおおきなものだったんだ。

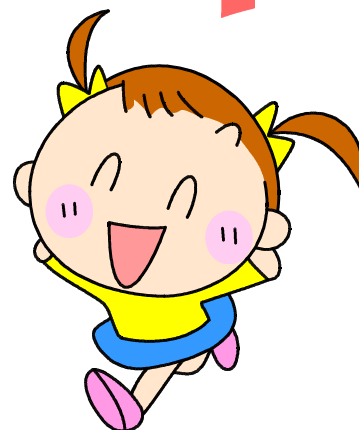


それだけじゃなくて、^ほオオツノジ
^{にゆう る い}カやニホンアシカなど おおきな哺乳
乳類（にんげんとおなじなかま）か
せきが、つぎつぎみつまっているん
だ。あわせて、モミやシラカバなど
のかせきもみつまっているんだ。

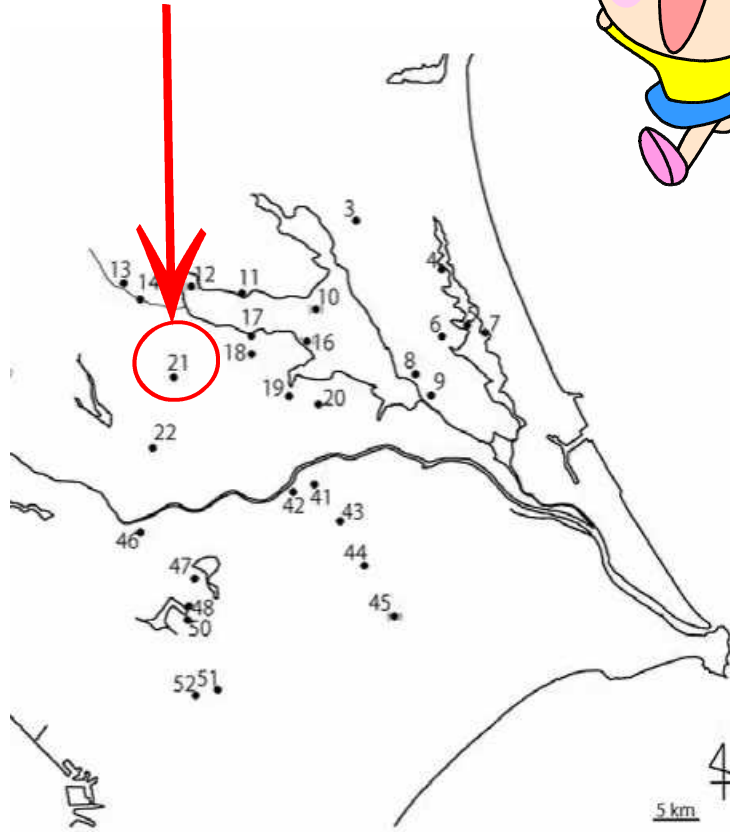
そのほか、^{けんなん}県南をちゅうしんに 17
^{しちようそん}市町村 5 2 かしょから **ナウマンゾウ**
かせきがみつかっているんだ。

そのなかに、なんと **くのち**
ようもあつたんだ。

びゅくり!



ここだ！



②1 ばんの
くのしん
でんのナ
ウマンゾ
ウのかせ
きだ。

1960 ね
ん 7 がつ
のながあ
めによっ
て、くの

しんでんのおのがわからはいりこ
んだたにの崖^{がけ}がくずれ、土砂のな
かからナウマンゾウのかせき^{どしや}が、み
つかったんだ。はっけんしたのは・
・

琵琶研報 2022 No.35

な
なんと...

とうじの

おくのちゅうがっこう
奥野中学校

(いまのおくのぎむきょういくがっこう) の

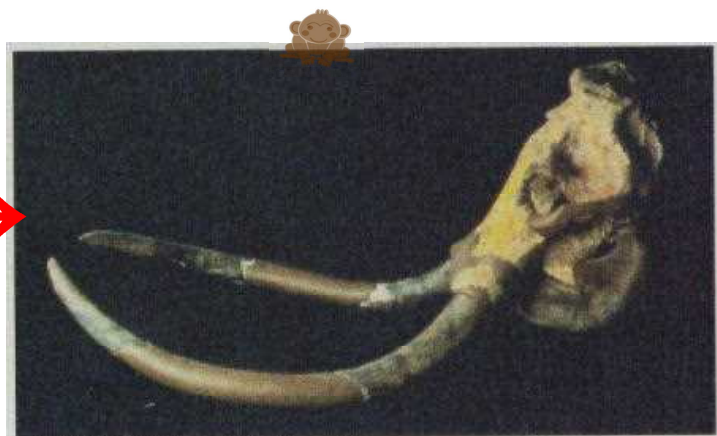
せいとだった
んだ。

びっくり!


そのご、^{けんりつりゅう が さきいちこう}県立龍ヶ崎一高の^{せいぶつ}生物・
^{ち がく}地学クラブのせいとが、そのばしょ
のはつくつをつづけ そのかせきが、
^{だい きゅう し}大臼歯（おくば）だということがわ
かったんだ。

びっくり!

それが
これだ →



(しんぶんきじにも なったらしいが、みつからなかった)

でも、どうして、ナウマンゾウの
かせきが、くのちょうにあったのかな？

「ん～、わかんないわ」

「それはね。いまからおよそ2まん
ねんま^{きゅうせつ}えの旧石器時代^{きじだい}には、へいき
んきおん^{かいめん}が、いまより10どころい
ひくく海面^{たいりく}が100m^{にほん}くらいひ
くかったんだ。だから、大陸と日本
列島^{れつとう}のいちぶが、つながっていたん
だよ」

「そうか、だから
そのころナウマン
ゾウは、日本列島^{にほんれつとう}
にわたり久野町^{くのちやう}に
もきたんだ。」

(そのころ、人類^{じんるい}はナウマンゾウな
どのおおきなどうぶつをおって、大
陸^{りく}からいどうしてきたようなんだ。

人々^{ひとびと}は10人前後^{にんぜんご}のしゅうだんをつくりかんたんな小屋^{こや}や岩か
げにすみながら、えものをもとめていどうしてくらしていたんだ)



しかし、そのご氷河期^{ひよう が き}をむかえ、
ぜつめつしたんだよ。

じもとのちゅうがくせい^だいはつけ
んし、じもとのこうこうせい^だいは、は
つくつをつづけ そのかせきが、大^{きゆう し}
臼歯^{きゆう し}（おくば）とつきとめたこと。

そして、ナウマンゾウのかせきが
くのちょうからでたということ。

が すばらしい！

「やっぱり、ナウマンゾウのかせき
は、おくのちくのたからものだ」
と なっちゃん、およろこび。

////
おわりに、ナウマンゾウのまめちしき

やく 1 万 5000 年前^{ねんまえ}にぜつめつしたゾウの一しゅで、
かつては北海道から九州^{ほつかいどう きゅうしゅう}にかけて広い範囲^{ひろはんい}に生息^{せいそく}し
ていた。どうじにみつまっている植物化石^{しよくぶつ か せき}から、平均^{へいきん}
気温^{きおん}が低い氷河期^{ひよう が き}の生息環境^{せいそくかんきよう}だったと考え^{かんが}られてい
るんだ。なまえは、日本ではじめてゾウのかせきのけ
んきゅうにたずさわったドイツ人地質学者^{じん ち しつがくしや}エドムント
・ナウマン博士^{はかせ}にちなんでいるんだ。



ナウマンゾウ（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）

さて、こんどは、なにを
しらべようかな？

あれあれ？「すごーく、たのしかった」と なぜな
ぜくん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら
かえっていった。

またね



参考 遺跡から見る牛久の歴史
ナウマンゾウ研究百年
(琵琶湖博物館研究調査報告)